

報道関係者各位

2018年6月19日

**大塚家具 “緑の魔術師”石原和幸
日本最大「風景盆栽展」を開催
石原和幸氏来店、トークショー・ワークショップも
2018年6月29日(金)より福岡ショールームにて**

総合インテリア販売の株式会社大塚家具（本社：東京都江東区、代表取締役社長:大塚 久美子、以下当社）は、2018年6月29日(金)より7月29日(日)まで福岡ショールームにて、「石原和幸 風景盆栽展」を開催いたします。

石原和幸氏は、苔を使った庭で独自の世界観が国際ガーデニングショーの最高峰である「英国チェルシーフラワーショー」で高く評価され、2006年から異部門で史上初の3年連続、また2012年からアーティザン・ガーデン部門で7年連続、通算10個のゴールドメダルを受賞。さらに今年は部門内1位となる5度目のベストガーデン賞をダブル受賞するなど、エリザベス女王も認める世界的な庭園デザイナーです。

このたび、石原和幸氏英国チェルシーフラワーショーV10を記念して、九州初上陸・石原和幸氏の盆栽展としては過去最大規模となる約50点もの盆栽を展示、販売いたします。

また、7月1日(日)、7月15日(日)には、石原和幸氏が来店、「英国チェルシーフラワーショー」2018年受賞作品である「おもてなしの庭」と題したトークショーと、苔玉づくりのワークショップも行います。

世界的庭園デザイナー石原和幸氏が手掛けた盆栽と、インテリアのコラボレーションを是非お楽しみください。

【石原和幸 風景盆栽展 概要】

開催期間 2018年6月29日(金)～7月29日(日) 10:30～19:00

開催場所 IDC OTSUKA 福岡ショールーム
福岡県福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレインモール by TAKASHIMAYA 3階
(地下鉄空港線・箱崎線「中洲川端駅」川端口より直結)
TEL 092-281-4321

展示販売品 石原和幸氏が手掛けた盆栽約50点
(10～30万円台を中心に
¥16,200～¥54,000,000(税込))



五葉松



赤松

《本件に関する報道関係者お問い合わせ先》

株式会社 大塚家具 広報室

TEL : 03-5530-5566 / FAX : 03-5530-5567

E-mail : koho@idc-otsuka.co.jp

【期間中イベント】

石原和幸氏トークショー「おもてなしの庭」

英国チェルシーフラワーショー2018年受賞作品である「おもてなしの庭」についてお話しします。

開催日時 2018年7月1日(日) 11:00～
2018年7月15日(日) 11:00～

開催場所 IDC OTSUKA 福岡ショールーム

※同時開催のワークショップのご参加には
別途参加費用が必要です。



ワークショップ 苔玉づくり

石原和幸氏、石原和幸デザイン研究所の講師の方に教わって、「苔玉」を作ります。作成した苔玉はお持ち帰りいただけます。

参加費 ￥3,000(税込)

申込方法 電話にて TEL 092-281-4321
(IDC OTSUKA 福岡ショールーム 10:30～19:00)
先着順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。



開催日	開催時間	講師	定員	開催場所
7月1日(日) 7月15日(日)	11:00より トークショー含み約60分	石原和幸氏	各30名	IDC OTSUKA 福岡ショールーム
7月8日(日) 7月22日(日)	11:00より 約30分	石原和幸 デザイン研究所	各15名	IDC OTSUKA 福岡ショールーム

【石原和幸氏 プロフィール】

庭園デザイナー 株式会社石原和幸デザイン研究所 代表取締役
1958年長崎県生まれ。60歳
22歳で生け花の本流『池坊』に入門。以来、花と緑に魅了され路上販売から店舗、そして庭造りをスタート。その後、苔を使った庭で独自の世界観が国際ガーデニングショーの最高峰である「英国チェルシーフラワーショー」で高く評価され、2006年から異部門で史上初の3年連続ゴールドメダルを受賞。2012年から2018年には7年連続でアーティザン・ガーデン部門でゴールドメダルを受賞し、これまで10個のゴールドメダルと部門内1位に贈られるベストガーデン賞を5度獲得。2016年には、全ての出展作品の中で最も優れた作品に贈られるプレジデント賞を初受賞。



【大塚家具 概要】

1969年創業。「上質な暮らしを提供する」ことを目指し、家具販売にとどまらず、修理、中古家具の買い取り・販売事業も手がける日本で唯一の総合インテリア企業。2017年3月10日経営ビジョン発表後、「暮らしのソリューション提案企業」として法人向け営業、資格保持者によるお住まいのインテリアのコーディネートサービス、家具レンタル、WEB・EC事業の強化を進めている。